６月２５日（土)、２０１１年の千葉県ガールズラグビーフェスティバルが日本 IBM 八千代台グランドで開催されました。当日、心配された天気も何とか持ちこたえ、さわやかな風の吹く中、参加者は力いっぱいのプレーを見せました。

ワセダクラブからはジュニアの部に平野瑞葉さん（中２)、ミニの部に岩花美南海さん（小６)、松本茜さん（小５)、森島あゆ美さん（小５)、竹内風瑚さん（小４）の５名が参加しました。試合はミニのカテゴリーでは低学年（３チーム)、中学年（４チーム)、高学年（２チーム）に分かれ、総当たり制で行われました。また、ジュニアは２チームで試合が行われました。日頃は男子と一緒の試合や練習ですが、この日ばかりは女子だけということもあり、思い切りの良いプレーがあちこちで展開されていました。急ごしらえの合同チームながらも、そこは女同志の勘の良さと思いやりで、華麗なステップを切りトライを取ったり、強烈なタックルを見舞ったりと、応援席がヒートアップする場面がいくつもありました。

今年度は、東日本大震災の影響で、開催を心配する声もありましたが、２２のラグビースクール・クラブ等から小学１年生から中学３年生までの女子約１００名が集まり、参加者一同は改めてラグビーの結束力を確認していました。被災地の一つである釜石市から、釜石シーウェイブスジュニアの中学生２名の参加もあり、大きな声援を受けていました。

試合前にはウォーミングアップを兼ねて水汲みゲームを行うなど、今年度も大いに楽しいラグビーフェスティバルとなりました。参加者は「次は熊谷でね」とか「来年もね」と声を掛け合ってさわやかな交流の場を後にしました。